

## 令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果速報

平成31年4月18日（木）、3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせいたします。今後、データを分析し、取組の成果と課題について明らかにして、今後の教育活動の改善につなげていきたいと思ひます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

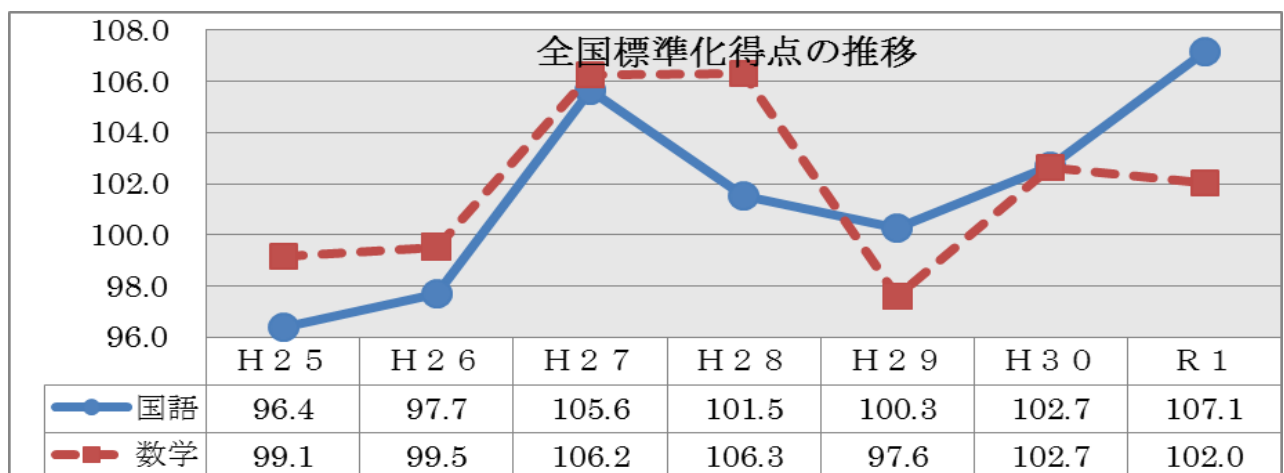
## 結果の概要

## &lt;平均正答率・平均無解答率&gt;

	平均正答率			平均無解答率		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語
桜宮	78	61	64	0.9	4.7	2.4
全国	72.8	59.8	56	2.6	7.3	6.0
大阪府	70	58	56	3.3	8.7	6.6
大阪市	70	57	54	3.5	8.8	6.7

平均正答率では、国語で5.2ポイント、数学で1.2ポイント、英語で8ポイント全国平均を上回りました。また、平均無回答率においても3教科すべてにおいて全国平均を下回りました。昨年度の本校の無回答率と比較しても、国語で0.1ポイント、数学で0.2ポイント下回り、前向きに取り組もうとする生徒の学習意欲が伺われます。

## &lt;全国標準化得点&gt;



平成25年度から7年間の全国標準化得点（全国平均を100点とした場合の本校の得点）を比較すると、国語では昨年度を4.4ポイント上回り、これまでの最高点となりました。数学においては、昨年度から0.7ポイント下回りましたが、全国平均を上回り、初めて行われた英語では、国語を上回る114.3点となりました。

## &lt;問題形式別正答率の全国平均との差&gt;

問題形式の分類別で比較すると、記述式の平均正答率が全教科で全国平均を上回りました。自分で考えて答えを導き出し、文章表現していく力が身についてきていることが伺われます。

問題形式	国語	数学	英語
選択式	+4.7	-0.9	+7.2
短答式	-1.4	+0.4	+8.8
記述式	+7.2	+4.2	+7.5

## 令和元年度「中学生チャレンジテスト（3年）」結果速報

6月19日（水）に実施された3年生「中学生チャレンジテスト」の結果が返却されました。3年生のチャレンジテストは、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、学力に目標を持ち、その向上への意欲を高めること、また、大阪府教育委員会が、調査結果をもとに大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が公平性の高いものとなることを目的に実施されています。

### 結果の概要

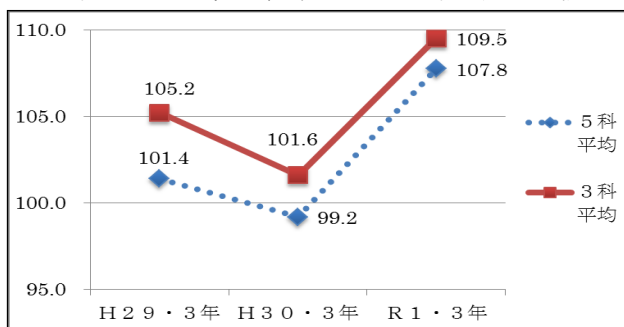
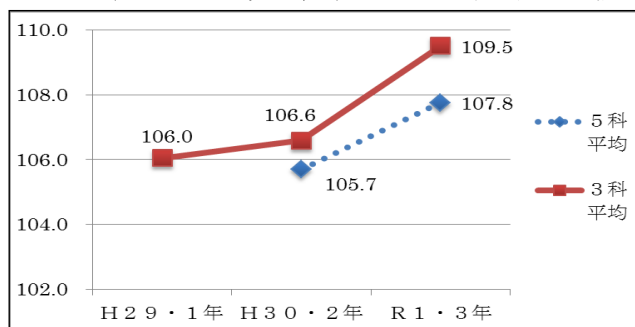
#### <平均正答率・府標準化得点>

	国語	社会	数学	理科	英語	5科平均
桜 宮	65.7	48.9	52.0	49.5	54.9	54.2
大阪府	57.1	46.2	53.5	47.7	47.0	50.3
標準化得点	115.1	105.8	97.2	103.8	116.8	107.8

※ 標準化得点…大阪府平均を100点としたときの、本校の得点

3年生は、数学を除く4教科で大阪府平均を上回り、特に国語・英語では大阪府平均を大きく上回りました。また、前年度と比較をしても、標準化得点の5教科平均は2年時より2.1ポイント上回り、昨年度の3年生より8.6ポイント上回りました。

#### <71期生の府標準化得点・3年間の推移> <3年生の府標準化得点・3年間の推移>



#### <問題形式別正答率の大阪府平均との差>

	国語	社会	数学	理科	英語	5科平均
選択式	+8.2	+3.7	-2.7	-0.8	+8.1	+3.3
短答式	+9.0	-0.7	-0.5	+6.8	+12.1	+5.3
記述式	+8.0	±0.0	±0.0	+5.0	+3.8	+3.4

問題形式の分類別では、全国学力・学習状況調査と同様に、記述式問題や短答式問題に強いことがわかります。

3年生の皆さんへは、個人票により結果が提供されています。自分の学習の得意なところ、苦手なところをしっかりと分析し、今後の学習に活かしていきましょう。

1・2年生のチャレンジテストは、1月9日（木）に実施されます。1年生は昨年度まで3教科（国・数・英）で実施されていましたが、今年度から大阪市立の中学校は5教科実施となります。一日一日の授業を大切に、未来の自分のためにしっかりと学力を身につけていきましょう。

## 和顔愛語 先意承問（わけんあいご せんいじょうもん）

和顔愛語とは、和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接すること、先意承問とは、相手の気持ちを先に察してその望みを受け取り、自分が満たしてあげることを意味する仏教書にでてくる言葉です。いつも穏やかな顔でいれば、心も穏やかになり、周りにいたわりの言葉をかけていれば、自然と心が優しくなる。優しい言葉によって、周囲の人の心も明るくなり、幸福感を感じる。そんな世の中に生きる自分の心も幸せになる。

家庭で、学校で、身近なところで、まずは「和顔愛語」から実践してみてください。